

平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトブレイン株式会社
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平

TEL 03-6214-1700

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	851	△12.1	88	△50.6	91	△47.2	37	△56.5
22年12月期第1四半期	969	△11.8	178	6.7	173	6.3	86	△55.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	128.38	—
22年12月期第1四半期	295.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	2,081	1,381	57.2	4,072.05
22年12月期	2,159	1,335	53.4	3,939.74

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 1,191百万円 22年12月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	0.00	0.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,670	△2.1	180	△18.3	175	△15.2	115	28.0	393.10
通期	3,550	3.2	450	8.7	440	6.0	300	△9.4	1,025.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】3ページ「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
 新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示の方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年12月期1Q 309,550株 22年12月期 309,550株

② 期末自己株式数 23年12月期1Q 17,000株 22年12月期 17,000株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年12月期1Q 292,550株 22年12月期1Q 292,550株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績に一部好転する動きがあったものの、東日本大震災の影響等もあり、企業の生産・設備投資の動向や不安定な為替市場・株式市場により、企業業績の見通しは不透明さが増しております。

このような状況の下、「営業課題解決事業」を推進する当社グループは、「ツールとサービスの融合」を実現するため、SFA/CRMパッケージソフト「eセールスマネージャー」の販売やカスタマイズ、サポートの提供に注力するとともに、プロセスマネジメントの考え方やその実践方法を支援する教育研修事業等のサービスを組み合わせ、真の営業課題解決を推進してまいりました。

その他の事業として、効果的な営業戦略の立案に必要な消費者情報を提供するフィールドマーケティング事業等、「eセールスマネージャー」とともに、当社グループのサービスを提案することで、顧客のニーズに幅広く対応してまいりました。

その結果、第1四半期連結累計期間における売上高は851百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益88百万円（前年同期比50.6%減）、経常利益91百万円（前年同期比47.2%減）、四半期純利益は37百万円（前年同期比56.5%減）となりました。

セグメント別に見ますと、「eセールスマネージャー関連事業」は、主力製品でもある「eセールスマネージャー Remix Cloud」の販売を中心に、営業マン育成コンサルティングをはじめとした教育研修事業等のサービスの販売に注力してまいりましたが、東日本大震災の影響等もあり商談リードタイムが長期化した結果、売上高569百万円、営業利益52百万円となりました。

これに対し、「フィールドマーケティング事業」は、東日本大震災による顧客の宣伝広告・プロモーション活動の自粛の影響を受けたものの、顧客のフィールド活動業務への需要の高さからその影響は限定的でありました。その結果、売上高174百万円、営業利益29百万円となりました。

その他は、MVNO事業、書籍企画販売事業を中心に、売上高142百万円、営業利益11百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、2,081百万円となりました。その主なる要因は、現金及び預金が22百万円、有形固定資産が13百万円増加したものの、投資有価証券が48百万円、仕掛品が25百万円減少したのになります。負債は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、700百万円となりました。その主なる要因は、法人税の支払いに伴い未払法人税が53百万円、前受金が48百万円、短期借入金が39百万円減少したのになります。純資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し1,381百万円となりました。その主なる要因は、利益の計上により利益剰余金が37百万円増加したのになります。自己資本比率は、57.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、1,105百万円となりました。各キャッシュフローの増減とその要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、69百万円（前年同期は60百万円の収入）でした。これは主に税金等調整前四半期純利益84百万円、減価償却費32百万円などの増加要因と法人税等の支払による支出78百万円の減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は、7百万円（前年同期は90百万円の支出）でした。これは主に投資有価証券売却による収入44百万円の増加要因と、無形固定資産の取得による支出25百万円、有形固定資産の取得による支出22百万円などの減少要因によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金は、40百万円（前年同期は増減なし）でした。これは短期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年2月4日に公表いたしました平成23年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

また、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による当社グループの営業拠点及び人的被害はありません。しかし、長期的な景気低迷の中で今回の震災による間接的な影響が今後も継続するか否かについては現時点では推測が困難であり、重大な影響が見込まれる場合は、速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより営業利益、経常利益は0百万円及び税金等調整前四半期純利益は7百万円減少しております。また、当会計基準適用開始により差入保証金は7百万円減少しております。

②四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105,558	1,082,618
受取手形及び売掛金	386,617	399,957
商品及び製品	45,236	44,725
仕掛品	17,620	43,281
原材料及び貯蔵品	490	490
繰延税金資産	95,705	93,122
その他	60,531	68,124
貸倒引当金	△4,880	△4,080
流動資産合計	1,706,879	1,728,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,859	45,859
減価償却累計額	△19,961	△16,647
建物及び構築物(純額)	25,898	29,212
その他	289,338	266,561
減価償却累計額	△232,675	△227,102
その他(純額)	56,662	39,459
有形固定資産合計	82,561	68,671
無形固定資産		
ソフトウェア	147,272	145,296
のれん	4,075	4,618
その他	915	915
無形固定資産合計	152,262	150,830
投資その他の資産		
投資有価証券	15,562	64,504
差入保証金	42,562	50,348
破産更生債権等	35,333	35,333
繰延税金資産	75,235	90,026
その他	6,841	7,123
貸倒引当金	△35,333	△35,333
投資その他の資産合計	140,201	212,003
固定資産合計	375,026	431,504
資産合計	2,081,905	2,159,744

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,127	150,021
短期借入金	187,608	227,374
未払金	73,398	70,683
未払役員賞与	—	12,578
未払法人税等	24,245	78,111
前受金	117,140	166,132
賞与引当金	39,262	35,136
返品調整引当金	682	7,333
その他	123,818	76,811
流動負債合計	700,282	824,181
負債合計	700,282	824,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	17,008	△20,777
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	1,196,521	1,158,735
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△5,241	△6,165
評価・換算差額等合計	△5,241	△6,165
少数株主持分	190,343	182,992
純資産合計	1,381,623	1,335,563
負債純資産合計	2,081,905	2,159,744

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	969,251	851,676
売上原価	453,749	450,935
売上総利益	515,502	400,741
割賦販売未実現利益繰入額	3,700	—
割賦販売未実現利益戻入額	2,878	1,192
差引売上総利益	514,680	401,933
販売費及び一般管理費	335,908	313,597
営業利益	178,772	88,335
営業外収益		
受取利息	231	153
持分法による投資利益	—	1,108
為替差益	—	324
補助金収入	681	1,610
違約金収入	114	—
その他	1,573	762
営業外収益合計	2,600	3,959
営業外費用		
支払利息	3,336	751
持分法による投資損失	5,005	—
その他	0	136
営業外費用合計	8,341	887
経常利益	173,031	91,407
特別利益		
持分変動利益	85	—
特別利益合計	85	—
特別損失		
固定資産除却損	266	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,931
特別損失合計	266	6,931
税金等調整前四半期純利益	172,850	84,475
法人税、住民税及び事業税	25,430	22,375
法人税等調整額	52,621	12,207
法人税等合計	78,051	34,583
少数株主損益調整前四半期純利益	—	49,892
少数株主利益	8,442	12,334
四半期純利益	86,355	37,557

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	172,850	84,475
減価償却費	34,648	32,207
のれん償却額	762	542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△196,703	800
長期前払費用償却額	444	413
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,167	△8,451
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4,490	△6,651
受取利息及び受取配当金	△231	△153
支払利息	3,336	751
持分法による投資損益(△は益)	5,005	△1,108
有形固定資産除却損	266	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,931
持分変動損益(△は益)	△85	—
売上債権の増減額(△は増加)	△38,573	13,604
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,646	25,261
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,144	△15,910
その他	130,771	15,979
小計	145,669	148,693
利息及び配当金の受取額	231	153
利息の支払額	△2,513	△772
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△47,552	△78,115
移転費用の支払額	△35,385	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,450	69,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,039	△22,338
無形固定資産の取得による支出	△2,924	△25,277
投資有価証券の売却による収入	—	44,876
子会社株式の取得による支出	△43,092	△5,440
差入保証金の差入による支出	△270	△125
差入保証金の回収による収入	138,472	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,147	△7,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△40,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,931	22,939
現金及び現金同等物の期首残高	945,048	1,082,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,095,979	1,105,558

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

前連結グループはインターネットを用いた法人向けのソリューションである、コンサルティングとシステム構築、パッケージソフトウェアの開発・販売等を事業内容としており、情報サービス単一セグメントのため事業の種類別セグメント情報を記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要商品
eセールスマネージャー関連事業	ライセンス販売、Cloud販売、カスタマイズ、サポート、導入支援、環境構築、仕入販売、研修教育、Webマーケティング事業、BPO推進事業
フィールドマーケティング事業	フィールド活動業務、マーケット調査、人材派遣

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	564,846	164,596	729,442	122,233	851,676	—	851,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,251	9,777	14,028	20,391	34,420	△ 34,420	—
計	569,097	174,373	743,470	142,625	886,096	△ 34,420	851,676
セグメント利益	52,353	29,615	81,968	11,383	93,352	△ 5,016	88,335

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、MVNO事業、書籍企画販売事業、採用支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5,016千円には、セグメント間取引消去 195千円、のれん償却△548千円、固定資産の調整額△4,663千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。